

科目名 (英)	認知症の理解B	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	(Study of Dementia B)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	火曜、3時限目

【授業の学習内容】

認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得することができる。認知症が及ぼす心理的・行動への影響を学び、そのうえで認知症高齢者を支援するうえで必要となる地域、多職種との連携、家族への支援についても理解ができる。

※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び整形外科部門を担当していた。※取得資格:看護師
②福祉施設等に所属している。主業務は高齢者の介護及び相談支援業務を担当している。※取得資格:介護福祉士

【到達目標】

※認知症に関する理解と本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点などが理解できるようになる。

大目標・・・「認知症を取り巻く状況」、「医学的側面から見た認知症の基礎」、「認知症に伴うこととからだの変化と日常生活」、「連携と協働」、「家族の支援」について理解できる。

中目標・・・「認知症の人に対する介護」、「地域の力を活かすケア」、「家族の力を活かすケア」、「認知症ケアに関連する制度」について理解できる。

授業計画・内容

1回目	「授業の概要」…授業概要説明。認知症ケアの実際と対応方法の概要について理解できる。
2回目	「認知症の人に対する介護①」…専門職としての認知症への気づきの視点について理解できる。
3回目	「認知症の人に対する介護②」…初期の認知症の人への介護について理解できる。
4回目	「認知症の人に対する介護③」…中期の認知症の人への介護について理解できる。
5回目	「認知症の人に対する介護④」…後期の認知症の人への介護について理解できる。
6回目	「認知症の人に対する介護⑤」…認知症の人のターミナル期の介護について理解できる。
7回目	「地域の力を活かすケア①」…認知症ケアを担う多職種の役割について理解できる。
8回目	「地域の力を活かすケア②」…地域における認知症ケアのサポート体制について理解できる。
9回目	「地域の力を活かすケア③」…認知症ケアのチームアプローチについて理解できる。
10回目	「家族の力を活かすケア①」…介護者自身の認知症ケアの体験を知ることで、介護者の状況等について理解できる。
11回目	「家族の力を活かすケア②」…家族へのレスパイトケアとエンパワメントアプローチについて理解できる。
12回目	「家族の力を活かすケア③」…家族会と家族教室、家族の介護力の評価について理解できる。
13回目	「認知症ケアに関連する制度①」…認知症ケアを支える制度(介護保険制度)について理解できる。
14回目	「認知症ケアに関連する制度②」…認知症ケアを支える制度(成年後見制度など)について理解できる。
15回目	「認知症ケアを支える関係機関」…認知症ケアを支える関係機関(地域包括支援センターなど)について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 新・介護福祉士養成講座⑫「認知症の理解」(中央法規出版)